



証券コード：3422

中間期決算のご報告

2025年4月1日から2025年9月30日まで

# 株主通信

A decorative graphic on the bottom half of the page. It features a red background with a white line-art illustration of a car, possibly a sports car, viewed from above. The car is surrounded by white circuit-like lines and dots, suggesting a technological or automotive theme. A white diagonal banner runs across the bottom left, containing the text 'Make our dreams by Technology' in red.

Make our dreams by Technology

# 株主の皆様へ

## ご挨拶



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当社第68期中間期(2025年4月1日から2025年9月30日まで)を終了いたしましたので、営業概況及び中間期決算のご報告を申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

代表取締役 社長執行役員

**山崎 英次**

## 連結業績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、関税率引上げに伴う駆け込み需要の反動影響など、先行きについての不透明感はみられるものの、総じて緩やかな回復基調となりました。米国では通商政策を巡る不透明感が残り、成長ペースはやや鈍化しましたが、個人消費や設備投資は底堅く推移しております。また中国をはじめとするアジア新興国では、不動産市場の調整や地方財政負担が重荷となる一方、政府による景気刺激策やAI・デジタル分野への投資拡大が下支え要因となりました。日本では、物価上昇の一服や賃上げ効果を背景に個人消費が持ち直しており、景気は緩やかな回復基調を維持しております。

当社グループが属する自動車業界においては、日本ではこれまで一部メーカーで発生していた生産停止や認証関連問題の影響は和らぎましたが、部品調達や物流の制約は僅かに残る形となりました。タイでは、内需の持ち直しが一部みられたものの、輸出減少の影響により総生産台数は前年同期比で僅かに減少いたしました。中国では、新エネルギー車の需要拡大が続く中、自動車販売・生産台数ともに前年同期比を上回る水準で推移しており、電動化の進展が引き続き業界の成長を牽引しております。一方で日系自動車メーカーは、電動化シフトやソフトウェア技術への対応強化を進めるものの、現地ブランドや新興EVメーカーとの価格競争激化により、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中長期5か年計画の3年目として、既存事業の強化及び電動化領域を中心とする新事業の創出に取り組んでまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は23,603百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益は777百万円(前年同期は429百万円の営業損失)、経常利益は421百万円(前年同期は660百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純利益は691百万円(前年同期は1,015百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

また、当期の中間配当は、1株につき2円とさせていただきます。期末配当につきましては1株につき2円を予定しております。ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# トピックス

## Topics 1 【J-MAX】岡山工場進捗 / 国内新機種立上り情報

J-MAXは2025年8月1日に、岡山工場のオープンハウスを開催いたしました。当日は約40名もの方々にご来場賜り、プレス起動式や最新鋭の工場設備を公開するなど盛大に執り行われました。また本工場にて量産される新型の日産「ルークス」、三菱「デリカミニ」も9月に無事量産開始を迎えました。共通のプラットフォームを採用するこれらのモデルは、岡山工場の中核を担う機種として前モデルから継続的に営業活動を進めており、今回は過去最多の部品点数を受注する等、J-MAXの売上高確保に大きく貢献しております。

またこの2機種は前年度の軽カテゴリーにおいて、年間の新車累計販売台数が、総合6位（ルークス）と総合9位（デリカミニ）と非常に人気の機種となっており、今後の生産増加にも期待される部品となります。

### ▶ 2025年8月1日に 岡山工場オープンハウス開催



起動式（テープカット）



新プレスライン(3000t TRF)+溶接ライン

### ▶ 新型ルークス / デリカミニを 岡山工場で量産開始



新型 ルークス



新型 デリカミニ



J-MAX 受注部品群

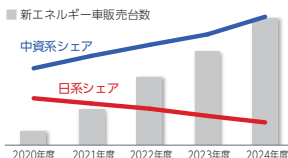
※上記の2機種は共通プラットフォームを採用

## Topics 2 【中国】中資系OEMとの取引拡大

当社は中国自動車市場における、急激なEVシフトの拡大を受けて、本領域でのシェア拡大を進める現地ブランドや新興EVメーカー等、様々な中資系OEMとの取引を開始しております。2025年度は、CATL社向け専用工場となっております福建丸順社の稼働開始に伴う中資系OEMの取引拡大により、中国セグメントにおける売上高の約4割を占める等、シェア拡大が広がっております。

加えて、中国ローカルメーカーとの共同開発により、新たな自動車部品を受注しました。「空飛ぶ車」とうたわれる当該自動車は、今後の自動車業界の進化を担う次々世代の自動車であり、既に開発段階を終えて、現在は量産に向けて準備を進めております。当社は、世界でEV化が先行する中国において技術力を構築し、今後の世界のEV化に向かって展開を図ってまいります。

### ▶ 中国の中資系/日系メーカーシェア 新エネルギー車販売台数推移



**中国の環境変化に合わせて  
中資系OEMとの取引拡大**

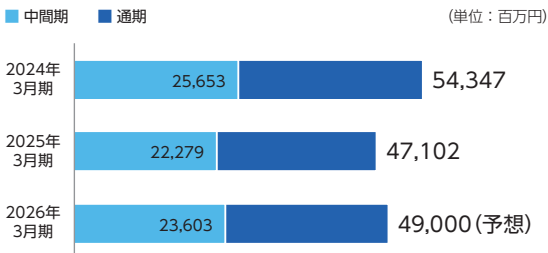
### ▶ 主要取引先(中資系メーカー)

取引先	概要	取引開始時期
CATL	世界最大の電池メーカー	2020年度
吉利 LOTUS	高級EVスポーツブランド	2022年度
小鹏汽車	スマートEVメーカー	2023年度
广汽集団	大手国有自動車メーカー	2025年度
嵐図汽車	東風集団系高級EVメーカー	2025年度

# 連結決算ハイライト

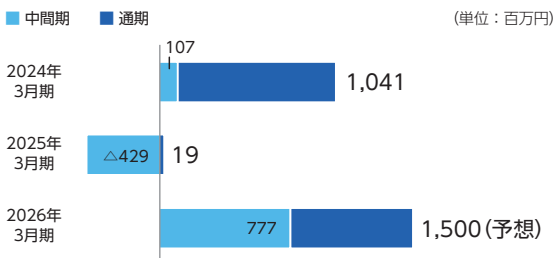
## 売上高

**23,603**百万円 • 前年同期比 **↑**



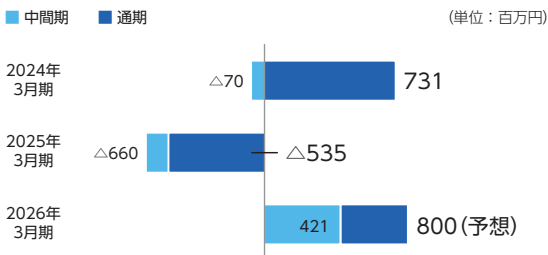
## 営業利益

**777**百万円 • 前年同期比 **↑**



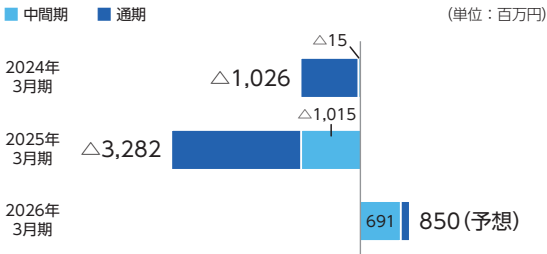
## 経常利益

**421**百万円 • 前年同期比 **↑**



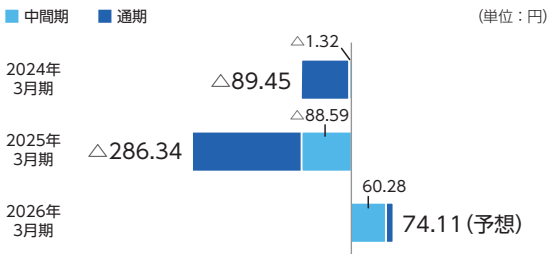
## 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

691 百万円 • 前年同期比 ↑



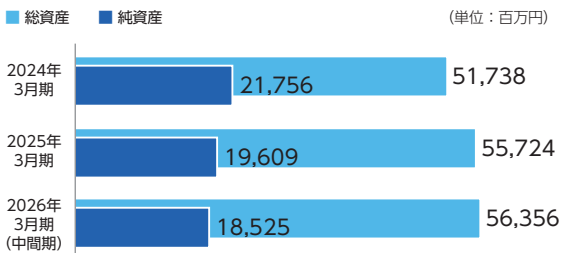
## 1株当たり親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

60.28 円 • 前年同期比 ↑



## 総資産・純資産

56,356 百万円 • 18,525 百万円

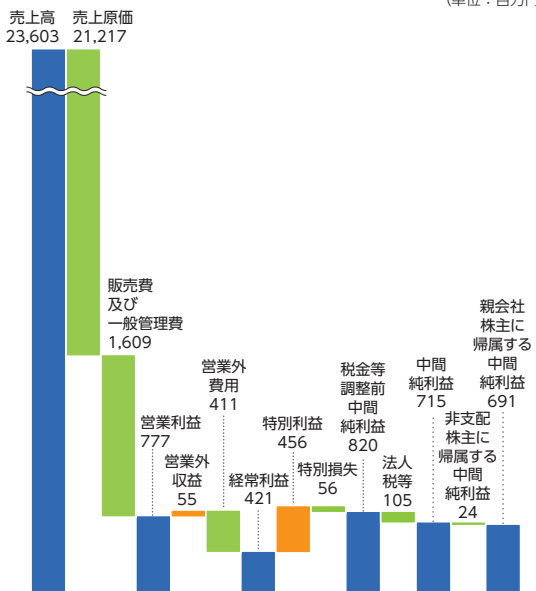


# 中間連結財務諸表

## 中間連結損益計算書 (要旨)

2025年4月1日～2025年9月30日

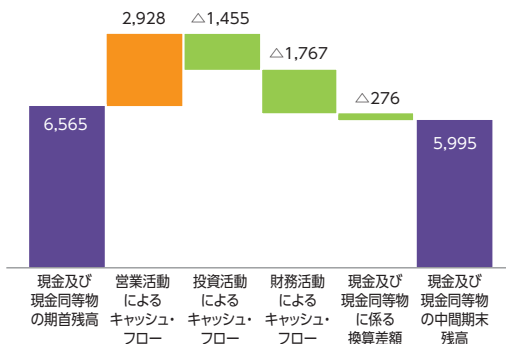
(単位：百万円)



## 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

2025年4月1日～2025年9月30日

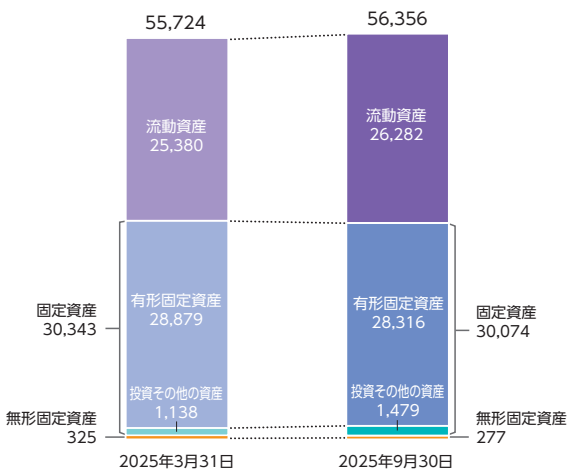
(単位：百万円)



## 中間連結貸借対照表（要旨）

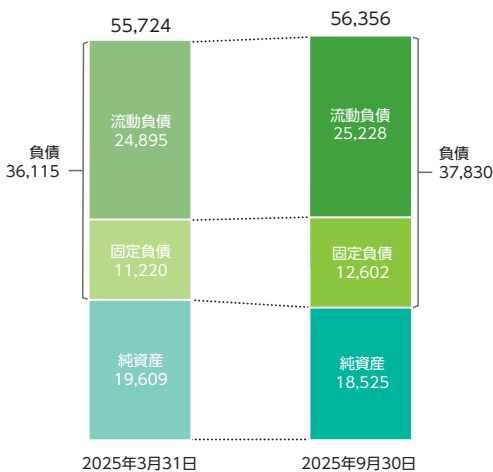
### 資産の部

（単位：百万円）



### 負債・純資産の部

（単位：百万円）

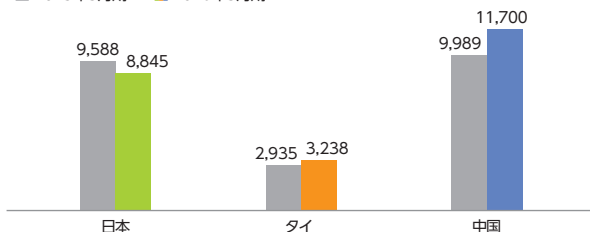


# セグメント別業績

## セグメント別売上高 (中間期)

(単位：百万円)

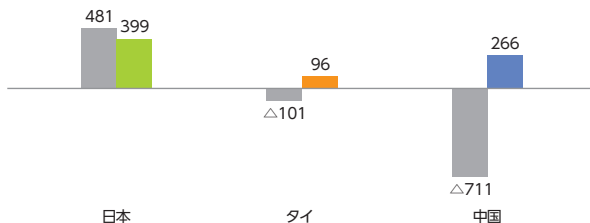
■ 2025年3月期 ■ 2026年3月期



## セグメント別経常損益 (中間期)

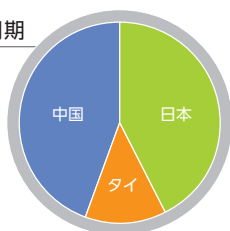
(単位：百万円)

■ 2025年3月期 ■ 2026年3月期



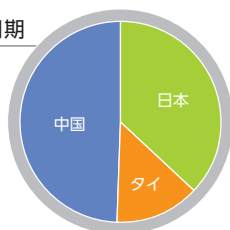
## セグメント別売上高構成比率

2025年3月期  
中間期



■ 日本.....42.6%  
■ タイ.....13.0%  
■ 中国.....44.4%

2026年3月期  
中間期



■ 日本.....37.2%  
■ タイ.....13.6%  
■ 中国.....49.2%



## 日 本

### 減収減益

日本においては、継続的な原価低減活動により固定費等の費用は減少しましたが、主要客先の減産影響が大きく、売上高及び利益ともに減少いたしました。

以上の結果、売上高は8,845百万円（前年同期比7.7%減）、経常利益は399百万円（前年同期比16.9%減）となりました。

## タ イ

### 増収増益

タイにおいては、主要客先の自動車部品及び汎用エンジン部品の生産が国内、輸出向けともに前年同期比で増加したことに加え、前期までに実施した要員適正化や原価低減活動等の構造改革の継続効果により、売上高及び利益ともに増加いたしました。

以上の結果、売上高は3,238百万円（前年同期比10.3%増）、経常利益は96百万円（前年同期は101百万円の経常損失）となりました。

## 中 国

### 増収増益

中国においては、日系メーカーの減産影響を受けるも、電動化領域における拡販活動の成果及び電動化部品の大幅増産等の影響により売上高は増加いたしました。また、前期までに実施した構造改革の継続効果により、利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は11,700百万円（前年同期比17.1%増）、経常利益は266百万円（前年同期は711百万円の経常損失）となりました。

# 会社の概要 (2025年9月30日現在)

## 会社概況

### 商号

株式会社 J-MAX  
(英文社名: J-MAX Co.,Ltd.)

### 創業

1952年7月

### 設立

1960年1月

### 資本金

1,950百万円

### 事業内容

自動車用車体プレス部品の製造  
自動車用精密プレス部品の製造  
各種金型の設計・製作  
治具・検査具の設計・製作

### 従業員数

288名 (連結1,194名)

### 電話番号 (代表)

0584-46-3191

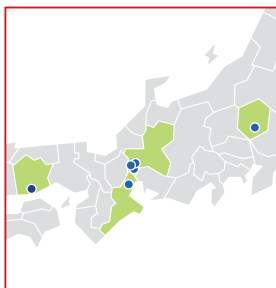
## 取締役

代表取締役	山崎 英次
取締役	猪熊 篤俊
取締役	棚橋 哲郎
取締役	松浦孝一郎
取締役 (常勤監査等委員)	青山 秀美
社外取締役 (監査等委員)	竹内 治彦
社外取締役 (監査等委員)	澁谷 英司

## 執行役員

社長執行役員	山崎 英次
専務執行役員	猪熊 篤俊
常務執行役員	棚橋 哲郎
上席執行役員	松井 恒夫
上席執行役員	森 和行
執行役員	小見山 肇
執行役員	本田 喬之
執行役員	石原 裕文

## 事業拠点



### 本社・上石津工場

岐阜県大垣市上石津町乙坂130-1

### 浅西工場

岐阜県大垣市浅西3-22-22

### 養老工場

岐阜県大垣市上石津町牧田2947-1

### 鈴鹿工場

三重県鈴鹿市国府町7755

(株式会社日本陸送内)

### 栃木開発センター

栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台143

ホンダロジスティクステナント棟201号室

### 岡山工場

岡山県浅口市鴨方町六条院中5100-1

### 広州丸順汽车配件有限公司(子会社)

中華人民共和国広東省広州市  
広州経済技術開発区永和経済区  
永盛路8号

### 武漢丸順汽车配件有限公司(子会社)

中華人民共和国湖北省武漢市  
東湖新技術開発区光谷一路223号

### 福建丸順新能源汽车科技有限公司(子会社)

中華人民共和国福建省福州市  
羅源県松山鎮鶴南路1号

### タイ・マルジュン社(子会社)

NONG KHAIE INDUSTRY ESTATE BAN  
NONGSAMAK 62 MOO-6, KOKYAE, NONG  
KHAIE, SARABURI 18230, THAILAND

### ベステックス・MM・インディア社(出資会社)

SPL-2B, TAPUKARA INDUSTRIAL AREA, KHUSHKHERA,  
DISTT. ALWAR, RAJASTHAN-301707, INDIA

## 株式の状況

### 株式数及び株主数

発行可能株式総数

39,000,000株

発行済株式の総数

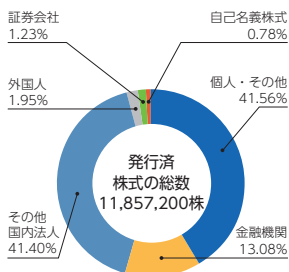
11,857,200株

(自己株式91,989株含む)

株主数

3,160名

## 株式数構成比

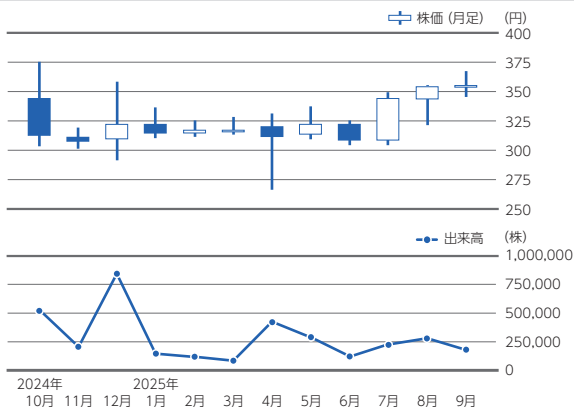


## 大株主の状況

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
東プレ株式会社	2,370,700	20.15
今川 喜章	1,022,770	8.69
本田技研工業株式会社	988,950	8.41
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	654,600	5.56
J-MAX取引先持株会	376,200	3.20
名古屋中小企業投資育成株式会社	371,000	3.15
今村金属株式会社	351,000	2.98
株式会社三菱UFJ銀行	325,000	2.76
株式会社大垣共立銀行	300,000	2.55
有限会社イマガワ	300,000	2.55

(注) 当社は、自己株式91,989株を保有しております。持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 株価チャート



## 株主メモ


事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日 期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。


- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

技術で夢を

- Make our dreams by Technology -

### ▼ OFFICIAL SNS

 YouTube : @J-MAX3422

 X(旧Twitter) : @J-MAX3422

